

2024年7月29日
SOMPOヘルスサポート株式会社

プレゼンティーイズムに影響を与える要因分析

SOMPOヘルスサポート株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：加納 昌明、以下「当社」)は、当社が提供するプレゼンティーイズム^{※1}測定サーベイである、WFun (Work Functioning Impairment Scale：以下WFun)^{※2}利用企業の従業員、約3.5万人のデータをもとに、プレゼンティーイズムに影響を与える要因について調査研究を実施いたしました。代表的なプレゼンティーイズム測定尺度のサービス提供の知見を持つ当社と、調査研究に強みを持つシンクタンクであるSOMPOインスティテュート・プラス株式会社(本社：東京都新宿区、取締役社長：司波 卓)の協働による独自の分析です。

※1 プレゼンティーイズム：何らかの体調不良があるまま働いている状態

※2 WFun：産業医科大学で開発された、健康問題による労働機能障害の程度を測定するための調査票

1. 背景

健康経営や人的資本経営に取り組むうえで、従業員の生産性の維持・向上は欠かせないテーマであり、企業にとって従業員は、その価値を最大限に引き出すことで中長期的な利益や価値を生み出す重要な資本といえます。経済産業省が公表している「企業の健康経営ガイドブック」の健康経営評価フレームの中で、生産性と関連する指標であるプレゼンティーイズムは、企業価値の向上などの経営的なアウトカムの前段階にあたる中間指標として位置づけられています。この中間指標は従業員の健康状態や生活習慣等をターゲットにした健康経営の取り組みの効果を表す指標にも位置づけられており、非常に重要な指標として、企業から具体的な取り組みについてのご相談なども増加しています。

本分析では、プレゼンティーイズムに影響を与える要因を明らかにすることで、プレゼンティーイズム改善策を検討する際の一助となることを目的としております。

2. 分析の方法

本分析では、当社が提供するストレスチェックサービス「LLax seed」で新職業性ストレス簡易調査票短縮版(新調査票)を利用している顧客企業のうち、WFunを同時に測定した71社、35,850人を対象にしています。仕事の負担と仕事の資源の各要因が影響する中間アウトカムとして、新調査票で健康いきいきアウトカムと位置づけられている、心身の健康(心理・身体的ストレス反応に分けて分析)、従業員のいきいき(ワーク・エンゲイジメント)、職場のいきいき(職場の一体感)を置き、期待される成果の指標は生産性と関連する指標であるプレゼンティーイズム(WFun)として分析しました。

3. 結果の概要：プレゼンティーイズム改善のためには、身体面だけでなく心理面への対策も重要

「心身の健康」「ワーク・エンゲイジメント」「職場の一体感」の各項目のプレゼンティーイズム(WFun)に対する影響の強さと、各項目によって説明できている割合について検証を行いました(図1)。心理的ストレス反応とワーク・エンゲイジメントでプレゼンティーイズム(WFun)の要素の53%が説明でき、身体的ストレス反応とワーク・エンゲイジメントでは34%であることが示されました。この結果から、プレゼンティーイズム改善には痛み等の

身体愁訴といった身体的なストレス反応への対策だけでなく、心理的なストレス反応を改善するメンタルヘルス対策も重要であると言えます。

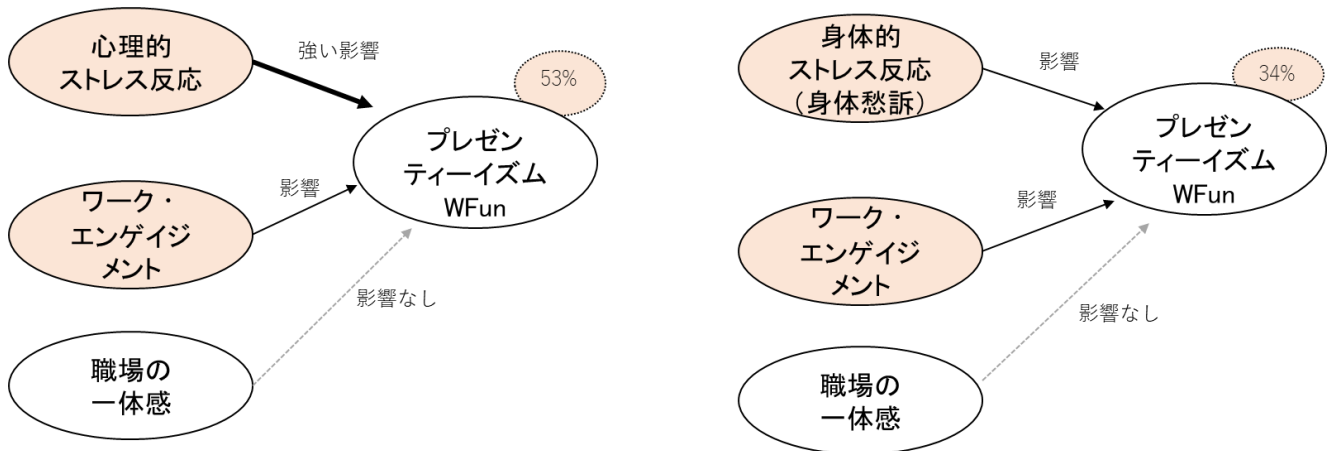


図1 新調査票の中間アウトカムのプレゼンティーズム（WFun）への影響

本分析では職場の一体感については、プレゼンティーズム（WFun）に対して直接的な影響は見られませんでした。ワーク・エンゲイジメントを介した影響なども考えられるため、今後検討を重ねる予定です。

4. 結果の詳細：心理的なストレス反応を改善するメンタルヘルス対策で優先すべき対策とは？

さらに、心理的ストレス反応への影響が強い項目を明らかにするために、新調査票における「仕事の負担」と「仕事の資源」の各要因からの影響を検証しました。以下の図2では、新調査票の各中間アウトカム（心理的ストレス反応、ワーク・エンゲイジメント、職場の一体感）への仕事の負担と仕事の資源の各要因の影響の強さ、および各要因内で影響力と説明力の高い項目を抽出した結果を示しました。これらの結果から、心理的ストレス反応には、仕事の負担（職場の対人関係、情緒的負担、役割葛藤）と仕事の資源の作業レベル（仕事の適性・仕事の意義・成長の機会）の要素についての改善が有効である可能性が示されました。

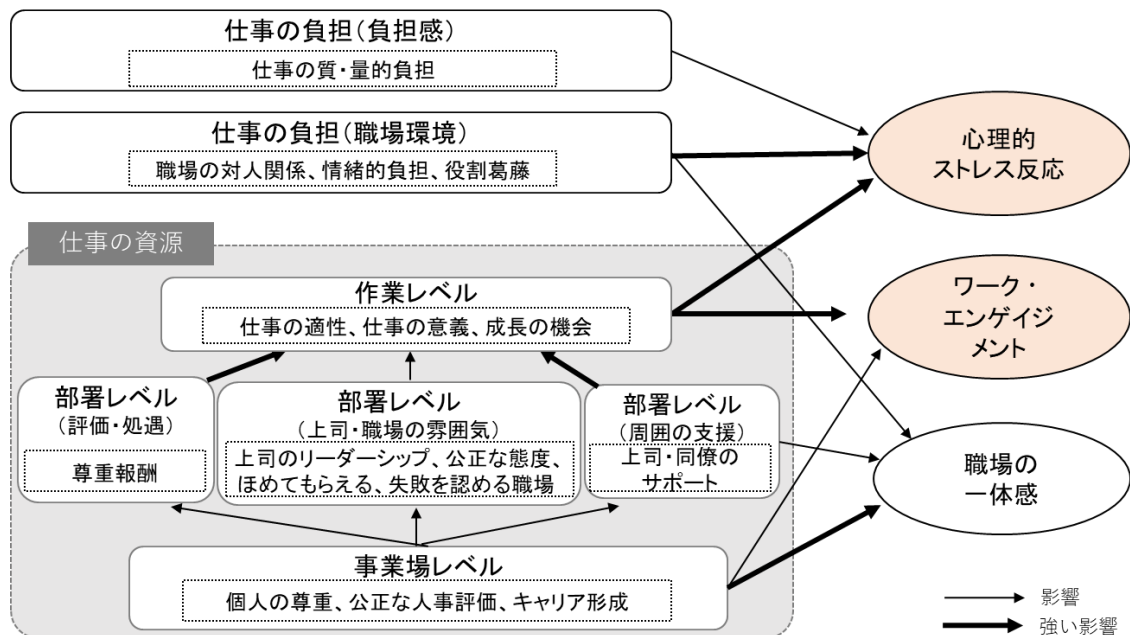


図2 新調査票の中間アウトカムへ影響する要因

以上の結果から、プレゼンティーイズム改善においては、心理的ストレス反応に影響の強い要因である、職場環境（職場の対人関係、情緒的負担、役割葛藤）や仕事の作業レベル（仕事の適正、仕事の意義、成長の機会）への取り組みが重要である可能性が示されました。

<尺度開発者：藤野 善久教授（産業医科大学環境疫学研究室）のコメント>

今回の調査では、心理的ストレス反応とワーク・エンゲイジメントは、仕事の遂行能力との関りが大きいことが示された。心理的要因は、プレゼンティーイズムの主要症状として広く知られており、今回の調査においても、そのことが確認された。一方、ワーク・エンゲイジメントは仕事への熱意やコミットメントを評価する指標として近年、健康経営において重要視されている。今回の調査では、ワーク・エンゲイジメントが心理的ストレス反応と同様に業務の遂行能力との関係が大きいことを示した意義は大きい。さらに、心理的ストレス反応、ワーク・エンゲイジメントに関連する職場環境や職場資源との関連を確認した。これらのことは、職場における業務環境に関する取り組みと、健康に関する取り組みは不可分であり、社員の健康と生産性の向上は同じベクトルで取り組むことが効果的であることを示唆している。

5. 今後の展開

当社は、“より多くの「こころと身体」の健康の実現に貢献する”ことを理念として、メンタルヘルス対策、健康経営、産業保健を軸としたソリューションを多くの企業さまにご提供してまいりました。今後も本調査のような分析による知見の蓄積やこれまでの実績とノウハウを活かして各サービスの改善に取り組み、お客さまのニーズに沿ったサービスを総合的に提供してまいります。

6. (ご参考) 当社サービス



LLax seed は本調査で検証した「新職業性ストレス簡易調査票短縮版 80 項目」や「職業性ストレス簡易調査票 57 項目」に、それぞれプレゼンティーイズム (WFun) が標準付帯されたサーベイです。ストレスチェック制度への対応だけでなく、プレゼンティーイズム測定による生産性の見える化も可能です。

ワンストップでの実施前～実施後まで専属の担当者による包括的なサービス提供や、経験豊富な担当者による集団分析のフィードバック&コンサルティングなど、職場環境の改善サービスもご提供いたします。

ストレスチェック「LLax seed」サービスサイト

https://www.sompo-hs.co.jp/service/llax_seed/

以上